

令和8（2026）年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

*所属および職名は申請時のものです。

課題番号	研究課題種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	脳研対応者分野名	氏名
26001	プロジェクト型	新規	CADASILでの血液脳関門破綻に関する病態機序解明	山口大学	助教	西原 秀昭	脳疾患標本資源解析学分野	齋藤 理恵
26002	プロジェクト型	新規	筋萎縮性側索硬化症モデルマウスにおける線条体の機能解析	国立精神・神経医療研究センター	部長	村松 里衣子	システム脳神経学分野（上野研究室）	上野 将紀
26003	プロジェクト型	新規	Duchenne型筋ジストロフィー脳病態におけるAQP4の役割	国立精神・神経医療研究センター	研究員	芦田 雪	統合脳機能研究センター（臨床機能脳神経学分野）	島田 斉
26004	プロジェクト型	新規	レヴィ小体型認知症におけるアルツハイマー病理合併促進因子の同定	弘前大学大学院医学研究科	助教	三木 康生	病理学分野	柿田 明美
26005	プロジェクト型	新規	タウオーバー進行における脳血管系の制御機構の解明	大阪公立大学	講師	上村 麻衣子	病理学分野	柿田 明美
26006	プロジェクト型	新規	Rfc1コンディショナルノックアウトマウス、リビート過剰発現マウスの開発	公立大学法人横浜市立大学	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
26007	プロジェクト型	新規	逆行性標識法を用いた前帯状回に投射する選択的なシナプス伝達の機能解析	兵庫医科大学	准教授	古賀 浩平	システム脳神経学分野（田井中研究室）	内田 仁司
26008	プロジェクト型	新規	中枢神経系原発性リンパ腫における脳微小環境解明に関する研究	横浜市立大学大学院医学研究科	准教授	立石 健祐	腫瘍病態学分野	栗田 学
26009	プロジェクト型	新規	慢性脳虚血モデルを用いた揮発性薬剤の脳保護効果	群馬大学	教授	鳥居 征司	統合脳機能研究センター（臨床機能脳神経学分野）	畠山 公大
26010	プロジェクト型	新規	グリア細胞のてんかん原性をヒト手術検体から探る	公立小松大学	教授	北浦 弘樹	病理学分野	柿田 明美
26011	プロジェクト型	新規	apoE遺伝多型が規定するアルツハイマー病神経変性の細胞間相互作用基盤の解明	東京大学	特任准教授	山田 薫	遺伝子機能解析学分野	原 範和
26012	プロジェクト型	新規	ニューロン再生過程における神経回路形成機構の解析	名古屋市立大学	教授	澤本 和延	システム脳神経学分野（上野研究室）	上野 将紀
26013	プロジェクト型	新規	神経変性疾患における翻訳品質管理機構RQCの機能解析	東京大学・医科学研究所	助教	鈴木 亨	病理学分野	柿田 明美
26014	プロジェクト型	新規	自閉症等感覚過敏を来す原因分子の解明	関西医科大学	准教授	片野 泰代	モデル動物開発分野	阿部 学
26015	プロジェクト型	新規	マウス 7a-水酸化ニューロステロイドの動態と作用機序の解明	富山大学	教授	清水 貴美子	モデル動物開発分野	阿部 学
26016	プロジェクト型	新規	Alzheimer病における脳血管新生および脳血管リモデリングについての臨床病理学的研究	聖マリア病院	主幹	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
26017	プロジェクト型	新規	日本人の認知症感受性遺伝子がSNAP(suspected non-alzheimer pathology)合併病理に及ぼす影響の検討	医療法人さわらび会 福祉村病院	副所長	金田 太夫	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
26018	プロジェクト型	新規	オリゴメドロサイト機能不全からミクログリア活性化および神経細胞死に至る分子機序解明	京都大学	教授	竹林 浩秀	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
26019	プロジェクト型	新規	国立精神・神経医療研究センター病院剖検例における神経・精神疾患の遺伝子解析	国立精神・神経医療研究センター病院	医師	佐野 輝典	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
24002	プロジェクト型	継続	大規模ゲノムオミクス解析を基盤とした認知症研究	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
24003	プロジェクト型	継続	体内時計を制御するオーファンG蛋白質受容体Gpr176のマルチリン酸化修飾を介した睡眠覚醒制御の解明	京都大学大学院	教授	土屋 雅夫	モデル動物開発分野	阿部 学
24005	プロジェクト型	継続	脳組織透過性・3DイメージングによるATTR型脳アミロイド血管症の病理組織学的研究	国立大学法人信州大学	特任助教	佐藤 充人	脳疾患標本資源解析学分野	齋藤 理恵
24007	プロジェクト型	継続	精神神経疾患の死後脳研究	徳島大学大学院医歯薬学研究部	教授	沼田 周助	病理学分野	柿田 明美
24009	プロジェクト型	継続	日本人由来ヒトアルツハイマーアミロイドを対象としたNMR研究	東京科学大学	教授	石井 佳善	病理学分野	柿田 明美
24011	プロジェクト型	継続	神経変性疾患関連遺伝子群の同定および解析	東京大学大学院	准教授	堀 由起子	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
24014	プロジェクト型	継続	神経変性疾患の発症に関わる脳のエネルギー代謝障害メカニズムの検証	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	主任研究員	小野 麻衣子	病理学分野	清水 宏
24019	プロジェクト型	継続	脳腫瘍の治療に用いられる抗がん剤や放射線などによる神経細胞への影響の解析	新潟医療福祉大学	教授	花村 健次	腫瘍病態学分野	栗田 学
25001	プロジェクト型	継続	神経変性疾患関連タンパク質の嗅覚機能制御機構の解明-疾患の初期症状の同定を目指して	東邦大学	准教授	上田(石原) 奈津美	動物資源開発研究分野	福田 七穂
25002	プロジェクト型	継続	in houseがん遺伝子パネル検査を用いた脳腫瘍解析と治療法の開発	藤田医科大学	臨床教授	大場 茂生	腫瘍病態学分野	栗田 学
25004	プロジェクト型	継続	ApoEのA?産生への作用機序	同志社大学	准教授	角田 伸人	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
25007	プロジェクト型	継続	脳疾患発症機序の解明を目指した新規疾患モデル齧歯類の行動解析技術開発	富山大学	教授	高雄 啓三	モデル動物開発分野	阿部 学
25008	プロジェクト型	継続	海馬ニューロン新生を介した内側側頭葉てんかんの病態生理の解明	東京大学	講師	菅谷 佑樹	モデル動物開発分野	阿部 学
25009	プロジェクト型	継続	死後脳の統合的オミクス解析による精神疾患病態解明	東北大学災害科学国際研究所	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
25010	プロジェクト型	継続	TDP-43とmTOR、rRNA遺伝子転写活性：グアム島のALS、とくに人工呼吸器なしの長期生存ALSと日本人ALSにおける観察	信州大学	招待教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
25011	プロジェクト型	継続	脳疾患モデルラットの利活用を推進するためのラットリソース共有基盤技術の構築	熊本大学	特任助教	中尾 聡宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
25012	プロジェクト型	継続	ミクログリア機能を反映するPETイメージングの有用性検証	国立長寿医療研究センター	副部長	木村 泰之	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理

課題番号	研究課題種別	新規 継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	脳研対応者分野名	氏名
25014	プロジェクト型	継続	脳波測定実験による共感覚的認知の脳内処理経路の解明	日本国際学園大学	教授	横澤 一彦	統合脳機能研究センター（生体磁気共鳴学分野）	伊藤 浩介
25016	プロジェクト型	継続	無髄神経を介した線条体機能制御に関する遺伝子群の同定および解析	岡山大学	助教	宮崎 晴子	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
25017	プロジェクト型	継続	デグー脳を用いた自閉症関連遺伝子NLGN4の発現解析	北海道大学	准教授	山崎 美和子	モデル動物開発分野	阿部 学
25018	プロジェクト型	継続	副腎白質ジストロフィー(X-ALD)患者剖検脳における脂質の解析	帝京大学	教授	横山 和明	病理学分野	柿田 明美
25020	プロジェクト型	継続	脳卒中後自発的生体回復システムの解明	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院医学系研究科	准教授	李 佐知子	システム脳病態学分野（上野研究室）	上野 符紀
25021	プロジェクト型	継続	バイオバンク連携によるアルツハイマー病血液診断基準の標準化	国立長寿医療研究センター	部長	春日 健作	脳神経内科学分野	石黒 敬信
25022	プロジェクト型	継続	タウオパチー病態における核酸高次構造機能の解析	熊本大学	准教授	矢吹 梯	病理学分野	柿田 明美
25024	プロジェクト型	継続	発生制御遺伝子GLI3の種特異的構造変化がもたらす表現型の解析	京都工芸繊維大学	教授	野村 真	動物資源開発研究分野	福岡 七穂
26501	資源利用型	新規	ロングリードRNA-seqを用いた神経変性疾患特異的mRNAアイソフォームの同定	東京都医学総合研究所	上級研究員	嶋多 美穂子	病理学分野	柿田 明美
26502	資源利用型	新規	アレキサンダー病におけるグリア細胞異常の解剖学的及び分子生物学的解析	山梨大学医学部薬理学	教授	小泉 修一	病理学分野	柿田 明美
26503	資源利用型	新規	筋強直性ジストロフィーにおけるRNA病態解明	山口大学	教授	中森 雅之	病理学分野	清水 宏
26504	資源利用型	新規	視床アミロイド凝集体の凝集過程の解明と疾患との関わり	東京薬科大学	大学教授	大滝 博和	病理学分野	柿田 明美
26505	資源利用型	新規	脳疾患モデルマウスの生体工学技術を用いた系統保存・生産システムの技術開発	公益財団法人 実中研	室長	後藤 元人	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
26506	資源利用型	新規	α -シヌクレイン凝集体形成過程におけるチロシン水酸化酵素の関与の解明	東京科学大学	教授	一瀬 宏	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
26507	資源利用型	新規	モデルマウスを用いたパーキンソン病の病態生理解明	自然科学研究機構 生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
26508	資源利用型	新規	脳アミロイド血管症の病態解析	京都大学大学院医学研究科	講師	眞木 崇州	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
26509	資源利用型	新規	脳疾患モデルマウスの整備および利活用の推進	理化学研究所	室長	吉木 淳	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
24501	資源利用型	継続	TDP-43の非必須領域GaroS2の機能解明	北里大学	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
25501	資源利用型	継続	脳腫瘍から血中に移行する糖タンパク質の同定	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発分野	阿部 学
25502	資源利用型	継続	ストレスホルモンの放出後調節を担うCRF結合タンパク質の機能-局在解析	東北大学	助教	五十嵐 敬幸	モデル動物開発分野	阿部 学
25503	資源利用型	継続	ユビキチンリガーゼScrapper欠損がもたらす脳内環境の変化と記憶学習への影響	関西学院大学	教授	矢尾 育子	モデル動物開発分野	阿部 学
25504	資源利用型	継続	ヒト脳内の磁性鉄の起源推定及び疾病との関連性の検討	国立大学法人 富山大学	准教授	川崎 一雄	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
25506	資源利用型	継続	構造生物学との連携による新規レビー小体病マウスモデルとシード増殖系の開発	大阪公立大学	講師	上村 紀仁	病理学分野	柿田 明美
25507	資源利用型	継続	高齢発症多系統萎縮症の臨床病理学的研究	自治医科大学附属病院	病院助教	小澤 美里	病理学分野	柿田 明美
25508	資源利用型	継続	CSF1R遺伝子関連遺伝性白質脳症におけるミクログリアの役割解明	京都大学	特任研究員	濱谷 美緒	脳疾患標本資源解析学分野	他田 真理
25509	資源利用型	継続	マウスモデル化した遺伝性神経・筋疾患の解析と病態再現性の検討	国立精神・神経医療研究センター	研究員	今村 道博	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
25510	資源利用型	継続	哺乳類大脳皮質発達の動的機構の解明	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
25511	資源利用型	継続	全脳神経活動へのドーパミンの作用	大阪大学	教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
25512	資源利用型	継続	てんかん外科標本からてんかんと認知症の関係を紐解く	NHO静岡てんかん・神経医療センター	脳神経内科医長	川口 典彦	病理学分野	濱崎 英臣

令和8（2026）年度 新潟大学脳研究所 国際共同研究 採択一覧

	新規 継続	課題番号	研究課題名		研究代表者（申請者）				所内対応教員
			英	和	国	所属機関・組織名	職名	氏名	氏名
1	継続	G202403	Non-inclusion α -synuclein co-pathology in neurodegenerative diseases	神経変性疾患における非封入体性 α -シヌクレインの共病理について	デンマーク	DANDRITE, Dept. of Biomedicine, Faculty of Health, Aarhus University, Denmark (オーフス大学)	Postdoc	Nanna Møller Jensen	他田 真理
2	継続	G202407	Investigating the mechanism of adaptive radioresistance in Glioblastoma	グリオブラストーマの放射線抵抗性獲得メカニズムの解明	米	Department of Neurosurgery, School of Medicine and O'Neal Comprehensive Cancer Center, University of Alabama at Birmingham (アラバマ大学バーミンハム校)	Assistant Prof.	Satoru Osuka 大須賀 寛	栗田 学
3	継続	G202502	Neuromodulatory control of value map formation and self-initiated navigation	神経調節物質による空間価値地図形成と自発的探索行動の制御	スイス	University of Lausanne (ローザンヌ大学)	Associate Professor	Hiroshi Ito 伊藤 博	三國 貴康
4	継続	G202503	Investigation of mitochondrial DNA copy number decrease in patients with neurodegenerative disease (PD, AD) and its association with immune profile	神経変性疾患患者（PD、AD）におけるミトコンドリアDNAコピー数減少のメカニズムと免疫プロファイルとの関係の調査	韓	Neurology, Asan medical center, University of Ulsan, College of Medicine (蔚山大学校 ソウル峨山病院)	Assistant professor	Sungyang Jo	柿田 明美
5	新規	G202601	Investigation of receptor and gene expression in specific brain area of postmortem human brain	死後ヒト脳の特定期領域における受容体および遺伝子発現の解析	デンマーク	Department of Biomedicine, Aarhus University, Denmark (オーフス大学)	Associate Professor	Asami Tanimura 谷村あさみ	他田 真理
6	新規	G202602	APOE and brain senescence in Japanese population	日本人におけるAPOE 遺伝子多型の脳老化に対する影響の解明	米	Department of Neuroscience, Mayo Clinic Jacksonville (メイヨークリニック)	Associate Professor	Takahisa Kanekiyo 兼清 貴久	宮下 哲典
7	新規	G202603	ZFTA-RELA Fusion Drives Aberrant RNA Processing and Chromatin Remodeling in Supratentorial Ependymoma	テント上の上衣腫におけるZFTA-RELA融合遺伝子はクロマチンリモデリングを通じてRNAプロセッシングの代謝障害を誘導する	米	Department of Pediatrics, University of Alabama at Birmingham (アラバマ大学バーミンハム校)	Associate Professor	Rintaro Hashizume 橋詰 倫太郎	大石 誠
8	新規	G202604	Clinicopathological Role of α -Synuclein Oligomers in PRKN-Associated Parkinson's Disease	PRKN 変異症例における α -シヌクレインオリゴマーの臨床病理学的役割	米	Department of Neuroscience, Mayo Clinic (メイヨークリニック)	Assistant Professor	Hiroaki Sekiya 関谷 博顕	柿田 明美
9	新規	G202605	Targeting Annexin A11-Driven Autophagy and RBP Dysfunction in ALS: From Human Pathology to ASO Therapy	Annexin A11依存性オートファジーとRBP機能障害を標的としたALS治療法の研究：ヒト病理からASO療法へ	米	Department of Neurology, Center for Motor Neuron Biology and Disease and Eleanor and Lou Gehrig ALS Center, Columbia University (コロンビア大学)	Assistant Professor	Anand Goswami	他田 真理
10	新規	G202606	Cell Adhesion Control of Serotonergic Circuits and Social Behavior	社会行動を制御するセロトニン回路の細胞接着因子による制御機構	米	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Chan Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute (マサチューセッツ州立大学・チャン・メディカルスクール)	Associate Prof.	Kensuke Futai 二井 健介	内ヶ島 基政
11	新規	G202607	Establishing an East Asian genomic framework for Alzheimer's disease: genetic modifiers of APOE-associated heterogeneity in age-at-onset	アルツハイマー病における東アジア人ゲノム解析基盤の構築：APOE関連発症年齢の不均一性を規定する遺伝的修飾因子	韓	Division of Biomedical Sciences, Chosun University (朝鮮大学校)	Associate Professor	Jungsoo Gim	宮下 哲典